

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

## 第2440回例会 2014.3.26

ソング「それでこそロータリー」

例会日：毎週水曜日 12:30  
 例会場：ホテルグランド富士  
 TEL (0545) 61-0360  
 事務所：〒416-0913 富士市平垣本町8-1  
 ホテルグランド富士内  
 会長：本野 仁  
 副会長：井出 清徳  
 幹事：吉野 栄司  
 副幹事：植田 眞晴

## 会長挨拶

本野 仁

皆様、こんにちは。

やっと、春本番という暖かい陽気になり、各地で桜の開花のニュースを聞くようになりました。高知では既に桜が満開で、東京でもソメイヨシノの開花があったとの報道がありました。ネット上の情報では、富士市の岩本山公園の桜はまだ「つぼみ膨らむ」の状態ということです。しかし、この気候からして、来週の花見例会には綺麗な桜が堪能出来ると思います。ただ私は、去年から発症した花粉症に苦しまされており、マスク等で完全防備しての参加となりそうです。

さて、本日は3月最後の例会です。皆様ご承知の通り、来月の1日からは消費税率が8%に変わります。平成27年の10月には更に2%増えて10%になりますが、年収400万円台なら、8%で年間7万、10%なら11万ほど支出増になるとのことです。郵便料金も50円のはがきが、52円、80円の封書が82円になり、鉄道やバスでスイカ、PASMOなどの電子マネーに限っては1円単位という料金が出現し、現金購入の場合との2重料金の状態が発生します。いずれにせよ各所で値上げ・料金改訂が予定されており、これをにらんで駆け込みでの買い物や需要が殺到しているとのことですが、皆様のところはいかがでしょうか。吉野幹事のところは、駆け込み需要による物流が大幅に増大したため、毎日深夜まで仕事ということでした。

これからの高齢者社会や福祉国家を考える時に消費税増税はやむを得ないものですが、せつかく回復基調にある景気に水をさすことのないよう、また増税分を有益な形で使って頂きたいものです。



4月2日 花見例会 ロータリーの森

4月9日 50周年慰労会 夜間例会

## 幹事報告

吉野 栄司

## ①例会変更のお知らせ

- ・吉原RC 4月10日 18:00 熱海後楽園ホテルに例会場所変更 5月1日 特別休会  
 MUは11:30~12:30 ホワイトパレスフロント
- ・沼津西RC 3月27日(木)→29日(土) 花見例会  
 MUは、11:30~12:30までニューウエルサンピア沼津  
 富士宮西RC 3月28日 花見例会

## ②日本事務局より 4月のロータリーレート 102円

## ③2013-14年次期会長 ロンD パートン様より お手紙

## ④米山記念奨学委員会 世話クラブ応募のお礼

⑤会報回覧 市難連ふじ 駿河クラブ 米山記念館館報  
ロゼ文化情報誌

## 親睦委員会

石井 誠

会員誕生日	杉 山	要	S 7. 3. 30
	植 田	眞 晴	S 36. 4. 2
	内 山	泉	S 14. 4. 8
	小 澤	剛 正	S 43. 4. 8
	中 村	淳	S 31. 4. 2
夫人誕生日	斉 藤	しのぶ	3. 29
	中 島	佳久子	4. 8
結婚記念日	大 箸	光 弘	S 58. 3. 27
創立記念日	池 谷	周一郎	T 2. 4. 1
	斉 藤	伸 一	S 37. 4. 1
	川 村	統 勇	S 39. 4. 1
	中 島	康 治	S 55. 4. 1
	藤 尾	肇	M 41. 4. 1
	石 橋	広 明	H 1. 4. 1
	佐 藤	昌 久	S 55. 4. 1
	太 田	義 隆	S 59. 4. 6

☆私のスマイル

赤堀浩子君 16日のゴルフコンペで、久しぶりに良いスコアで優勝出来ました。パートナーの井出さん、野坂さんの醸し出す楽しい雰囲気、ノビノビプレイ出来たお蔭です。ありがとうございました。

川村統勇君 庭のソメイヨシノ、ヤマ桜が咲いて春らしくなってきました。

宮下正雄君 何となく。

出席報告

佐藤昌久

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
32名	32名	10名	23名	68.7%

3/12確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
32名	32名	9名	23名	71.8%

◇◇◇50周年記念事業◇◇◇

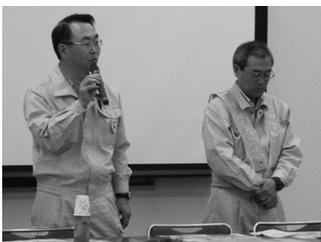
『ひまわり園 園児の  
職場見学会 開催』

とき 2014年3月26日(水)  
ところ 王子マテリア株式会社  
富士工場



当クラブ会員の 藤尾工場長様 他 会社の幹部の方々による工場のご説明や、ご案内をして頂きました。日本一の抄紙機 (N2マシン) や巨大なロール紙が裁断され、自動機にて板紙となり梱包されてゆく様は、どの工程を見学しても子供達には、とても驚きの連続だったようです。目を輝かして、中々その場を立ち去ろうとはしない姿を見て、今回の企画は子供達にとって、良い経験になったと感じました。

工場見学の後に質疑応答等の時間を設けて頂きましたが、板紙の生産量のご説明の中で、当工場と日本製紙の富士の工場合わせて、日本の需要の30%を生産しているとの事、やはり、富士は紙の街であるとの思いを強く致しました。



卓話

富士市総務部  
防災危機管理課長  
柏森孝幸様



『静岡県第4次地震被害想定と  
富士市の防災対策について』

本日は、静岡県第4次地震被害想定に基き、富士市の防災対策について、お話をさせていただきます。静岡県では、平成13年に東海地震による第3次被害想定を作りましたが、これを見直して、東日本大震災の教訓が生かされた第4次地震被害想定が作られました。これに基づき、富士市では2つのレベルの地震と津波による被害想定を作りました。想定される東海地震をレベル1、東日本大震災クラスの地震をレベル2とし、2つに分けて対応するように考えております。地震の揺れや津波の浸水区域の想定と、交通施設やライフラインの被害想定もなされております。今後も、地域防災計画の改定を進め、富士市の防災対策の充実を図ってまいります。

＜第4次地震被害想定概要＞

被害想定目的等

- 東日本大震災等の教訓や蓄積された科学的知見を生かし、二つのレベルの地震・津波を想定。
- 今後の地震・津波対策の基礎資料として活用する。

第1次報告 (平成24年9月27日)	第2次報告 (平成25年11月29日)
<ul style="list-style-type: none"> <li>目録整備</li> <li>地震動、地震の液状化山がけ崩れ、津波</li> <li>物的被害</li> <li>人的被害</li> <li>要員死傷者数、負傷者数等</li> <li>被害対応シナリオ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフライン被害</li> <li>交通施設被害</li> <li>生気支障物</li> <li>避難所、物資不足、医療機能支障、住居機能支障 など</li> <li>経済被害</li> <li>直接的経済被害、間接的経済被害</li> </ul>

第4次地震被害想定と第3次想定との比較

第3次地震被害想定 (H13年度公表)	第4次地震被害想定 (第1次報告) H25.6.27公表
レベル1 (100~150年に1度)	レベル2 (千~数千年に1度)
想定される地震	東海地震
地震の規模(マグニチュード)	東海 東海南海海地震 南海トラフ巨大地震
最大震度	8.0
津波の高さ	8.0~8.7
死者(人)	9.0
重傷者(人)	最大震度7
建物全壊棟数	最大震度6強
津波の全壊棟数	最大震度6弱
津波の半壊棟数	最大3m、平均3m
死者(人)	最大6m、平均5m
重傷者(人)	30人(津波0人)
建物全壊棟数	30人(津波10人)
津波の半壊棟数	140人(津波90人)
死者(人)	1,170人
重傷者(人)	200人
建物全壊棟数	5,345人(中津川)
津波の半壊棟数	1,500人
死者(人)	2,340人
重傷者(人)	7,736棟(大津)
建物全壊棟数	2,250棟
津波の半壊棟数	6,180棟
死者(人)	16,404棟(中津)
重傷者(人)	8,070棟
建物全壊棟数	12,390棟
津波の半壊棟数	

＜地震の液状化＞

○細かい砂や、砂を含んだ泥質の地盤が地震の揺れにより液状状態になり強度が失われる現象

○地盤への噴出、建造物の沈下・変形が生じる

○海岸や川沿いの平坦部で発生しやすい

○液状化発生可能性は、どのケースも同じ

レベル1 (東海・東南海・南海地震)	(平方キロメートル)				
	大	中	小	なし	計
静岡県	194.3	224.0	110.8	212.5	6,974.4
富士市	5.9 (2.4%)	7.9 (3.2%)	5.9 (2.4%)	12.7 (5.2%)	212.7 (66.8%)

レベル2 (南海トラフ巨大地震・東側ケース)	(平方キロメートル)				
	大	中	小	なし	計
静岡県	204.2	227.2	104.9	205.3	6,974.4
富士市	6.6 (2.7%)	8.3 (3.4%)	5.1 (2.1%)	12.4 (5.0%)	212.7 (66.8%)



富士市津波避難行動計画について

市内における津波死者数を0にする

津波避難の方向性

- 1 まず、津波浸水域外へ逃げる
- 2 できれば津波避難ビルなど高い建物へ

津波浸水の恐れのある自主防災組織は12組織

→津波警報で避難勧告、大津波警報で避難指示

津波注意報は海岸から離れる(自主防災組織は避難不要)、情報に注意

→避難行動計画に基づき、各家庭で避難目標地点を決め、自主防災組織ごとに避難計画を作成し、津波避難訓練などで検証する。

避難に関する注意

- 地震避難：津波避難区域、土砂災害危険区域、耐震性が弱い建物に住んでいる人以外は、避難所にいく必要はない。→原則として自宅を過ごす。
- 津波避難：津波避難対象区域の12自主防災会は、全員避難。避難方法は原則徒歩、区域外へ出るか避難ビル等に避難
- 富士山噴火の避難：対象地域は全員避難。避難方法は自動車の乗り合わせ、段階的に避難
- 風水害の避難：浸水や土砂災害等の発生前に区域外へ避難。浸水が始まったり、風雨が強まったりした中では、屋外に出るのは危険。→自宅2階や近くの建物の2階以上に待避(いっとき待避)



編集者 野坂富士雄